

2020年度（令和2年度）事業方針 及び 計画

(2020年(令和2年)4月1日～令和3年3月31日)

認定特定非営利活動法人こまちぷらす

I 事業の活動方針

法人運営8年目となる2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できる事業内容が大幅に限られるものの、各家庭にて子育てが孤立しないよう家庭内までリーチできる新たな事業に取り組む。事業収入の柱である「こまちカフェ」においては、医療崩壊を回避するために感染拡大を防ぐべく店内飲食を中止し、テイクアウトのみを実施するほか、イベントスペースのレンタルを自粛する等、状況に応じた対応を進める。まずはスタッフや関係者の安心・安全を確保したうえで、日々判断を続けていく。在宅勤務を可能な限り活用し、オンラインでの打ち合わせや情報共有が不自由なくできる環境整備に力を入れる。また、これまでカフェの場に集うことで行っていた各種イベントをオンラインで可能な限り実施し、多くの子育て層が情報交換や新たな学びを得られるように実施する。子どもたちとオンラインで一緒に遊ぶ事業を新たに実施する等、自粛期でも子育てを親が一人で抱えることがないよう少し肩の力が抜けるような事業も展開する。

緊急体制を敷きながらではあるものの、既存の事業を可能な限りオンラインを併用することで継続するほか、事業内容としては、以下に力点を置いて事業を推進する。1点目は、産前から出産直後の地域とのつながりを切れ目なくサポートしていくことである。ウェルカムベビープロジェクトでのプレママ・プレパパ講座に加え、戸塚の子育て応援ルームとことこにおける産前産後の情報提供、そして産後早い時期での人とのつながりがその後の社会参加や自己実現を豊かにするとの考えから、新たに「産後1か月ママの会」を月1回開催する。産後間もない親子が集まる場を作り、安心して話せるだけでなく日常生活や社会参加に対するニーズもとらえ、今後の事業に活かしていく。2点目に、WAM助成金を活用し、日本各地に「居場所」と「対話の場」を設けられるようにする仕掛けづくりをすることである。各地で継続して葉っぱを使った「対話の場」を実施できるようファシリテーター養成を実施する。3点目に、商店会や地域のリビングラボなど様々なネットワークと連携しながらこの危機を乗り越えるだけでなく、まち全体で子育てを支える基盤づくりにつなげていく。

<事業内容>

I 子育て情報の提供

1. 地域子育てカレンダー事業

- ・内容：【概要】地域の子育て情報を、地域子育て支援拠点との連携により収集し、ネット上に毎月100～200件ほどデータベース化しネット検索できるよう掲載。地域別、テーマ別、キーワード毎に検索ができるようになっている。自宅からなかなか出られない出産直後や転入など、地域情報にたどりつき辛い子育て当事者に向けて、地域の施設が発行しているチラシ情報をネット上で検索できる状態にすることで、孤立の解消につなげることが狙い。拠点運営法人より受託、実施。

【2020年度の取り組み】

2020年度は、これまで通りチラシをwebから閲覧できるように内容を逐次入力することを継続しつつ、以前より課題となっている「情報入手」と「情報公開」までのタイムラグを削減する工夫及び円滑なチームワークの連携を図れるような工夫をしていく。また、求めている情報がすぐに検索できるよう、検索ワードの入力の工夫も継続予定。そのためにも関連施設との連携を図ったりユーザーの声

をヒアリングする機会を作ったりしていきたい。また、地域こそだてカレンダーに関わっているメンバー1人1人が報告・連絡・相談、意見交換がしやすい環境を意識しながら、より多くの旬な情報をお届けできるようにしていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区内
- ・従事者人員：6名
- ・受益対象者：区内外の母子中心に、のべ10,000名程度
- ・支出額：113,120円

2. とつかの子育て応援ルームとことこ 情報スペース運営事業

- ・内容：【概要】年間約1万人以上が来場する、戸塚区役所内にある子育て情報発信及び託児機能をもつ施設において、情報発信スペースの運営を拠点運営法人より受託、実施。1人の情報コンシェルジュが常駐し、月間100件ほどの相談を傾聴、区役所の窓口含め必要な支援や情報に案内している。ベビーカーレンタルや体重計の貸し出し等も実施している。

【2020年度の取り組み】

前年に引き続き、利用者一人一人への丁寧な対応と適切な情報提供を心がけるとともに、利用される方にとってより一層価値ある場所になるよう配慮する。

昨年度後半から月に一度設けられている「母子保健コーディネーター」の相談日をさらに周知し、相談対応を充実させていくほか、産前産後の情報のさらなる周知を心がける。保育園に預けたい方が自分の現状を知り、さらに必要となる情報や相談をしやすくするための状況把握シートの作成を保健師とともに検討しながら作成していく。

同じ3階にある、さくらプラザ、情報コーナー、とことこの3団体合同避難訓練を行うとともに、とことこ来所者全員での避難訓練を通して安全に避難が出来るようにしていく。

そのほか、障害のある方や祖父母世代、外国籍の方の多様なニーズへの対応を充実させていく。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-17
- ・従事者人員：5名
- ・受益対象者：区内外の親子中心に、のべ12,600名
- ・支出額：1,725,662円

II. 子育てをしている人、子ども、地域の人が思いを言語化し、つながりをサポートする場づくり

- ・内容：【概要】日祝日を除く毎日（月曜日～土曜日）戸塚駅から徒歩7分のところで「こまちカフェ」という居場所を運営。飲食の提供、雑貨の販売、イベント企画を通して子育て中の母親のリフレッシュや外出動機の創出、仲間づくりのきっかけづくり、気持ちを言語化できる機会づくり、新たな情報や視点との出会いの場をつくっている。当事者や支援者・企業・行政等様々な主体の人の「ニーズ」や「で

きること」が集まり、コーディネーションをしながら活気のある場をつくっている。この部門では主に、飲食の提供を通した豊かな居場所づくりをしている。

【2020 年度の取り組み】

2020 年度も引き続き、衛生と安全に気を付けて日々営業し、安定した品質の食事を提供しながら、主に子育て当事者へのリフレッシュの機会と外出動機の創出につとめる。

年度前半は、新型コロナウイルス感染症対策のため、日々状況に応じてカフェの飲食提供の安全が確保されるまで状況を見極めるほか、お弁当販売を引き続き行う。バリエーション豊富なメニューの提供・スイーツの販売なども行う。

日本各地や世界各国からの視察やボランティアの受け入れ、学生ボランティアやインターンなども受け入れられるよう、体制を整える。

また、ネットショップを開設することで、これまでこまちカフェへの来店が適わなかった遠方の方への販売やプレゼントにも対応していく。

- ・ 日時：通年
- ・ 場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・ 従事者人員：40 名
- ・ 受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 9,000 名程度
- ・ 支出額：10,661,818 円

III. 社会から孤立しがちな当事者・支援する人の学びあい事業

1. 「でこぼこの会」（発達障がいをもつ子どもの親を対象に情報発信・イベント実施）

- ・ 内容：【概要】毎月 1 回、お子さんの発達に不安を持つ親、支援者、当事者の方が集まり、お話会と依頼した講師による勉強会を交互に開催。

【2020 年度の取り組み】2020 年度も、お話会と勉強会を交互に開催予定。前年度、好評だった理学療法士の先生の「親子でカラダ遊び」の講座を、平日仕事をしている保護者も参加しやすいよう日曜日に開催予定。

勉強会やお話会は満席になることが多く、予約が取りづらいとの声もあるので、参加人数を増やす・「出張でこぼこの会」を開催する、等の対策も考えている。

参加者の声やアンケートを集め、ワークショップツールである“葉っぱ”を作り、でこぼこの会の葉っぱのワークを計画している。

尚、新型コロナウイルス拡大防止のため、4 月からオンラインでお話会を行う。今後も状況に応じて、オンラインかオフラインでの開催かを決めていく。

- ・ 日時：通年
- ・ 場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・ 従事者人員：5 名
- ・ 受益対象者：区内外の母子中心に、のべ 180 名程度
- ・ 支出額：99,508 円

2. ケアラーズカフェ「えんがわ」(子育てと介護を同時に抱える家庭や親の介護等について関心がある家庭向けの事業)

- ・内容:【概要】子育て世代が直面する親の介護について、必要な情報に出会えることや、自身の思いを話し合える場をつくる。

【2020 年度の取り組み】

2020 年度も「子育ても介護も一人で抱えない」「介護者が自分自身を大切にする」ことを目指して活動する。介護施設見学ツアーについては、より様々な種類や特色も含めて開催し、お話し会については、ダブルケアの方が必要な情報に出会いながらも、思いを話し合い聞きあえるようなきっかけとなるテーマを取り入れながら開催する。また、講演会の実施により、広くえんがわの取り組みやダブルケアについて周知する機会も設ける。

- ・日時: 通年
- ・場所: 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員: 1 名
- ・受益対象者: 子育て中の親、介護中の方、高齢者、支援者等、のべ 60 名程度
- ・支出額: 16,674 円

3. 「～不登校・ひきこもりの親ができること～ほっとひと息金曜日」

(不登校・ひきこもり学齢期児童の家族向け事業)

- ・内容:【概要】月 1 回金曜日午後、年 2 回土曜日夜に、不登校ひきこもり児童・生徒(学齢期)の家族の方がお互いの今の心情を安心して話すことができる場を提供。

【2020 年度の取り組み】

2020 年度も引き続きお互いの気持ちを共有し情報を得ることで、自信と元気を取り戻していただく場にする。また SNS 発信や「街のとまり木」の活動を通じて家から出られない親子の外出機会をつくる。

戸塚区ふれあい助成金の助成を受け(2020/4/現在申請中)、地域との連携を深めながら実施する。

- ・日時: 4 月 24 日、5 月 29 日、6 月 20 日、7 月 31 日、8 月 21 日、9 月 19 日、10 月 25 日、10 月 23 日、11 月 27 日、12 月 19 日、1 月 29 日、2 月 20 日、3 月 19 日
- ・場所: 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員: 2 名
- ・受益対象者: 不登校の児童の親、支援者など のべ 60 名程度
- ・支出額: 38,825 円

IV. 社会とつながりたい人が社会で活躍できる場・貢献の場を見出すためのチャレンジ事業

1. 特技を活かし、地域に貢献を考える子育て中の母親に対するサポート事業

- ・内容:【概要】こまちカフェにて、イベントスペース・カフェスペースの貸出を通して起業支援や情報発信支援を実施。

【2020 年度取り組み】引き続きイベントスペース・カフェスペースの貸し出しを行い、子育て世帯のゆるやかな起業支援・継続支援の場、子育て世帯にとってのつながりづくりの場となるよう努める。特に、午後や夕方時間帯のイベントの充実を図り、幅広い年齢層・ライフスタイルに対応したイベントの企画と実施を図りたい。

さらに、産後早い時期での人とのつながりが、その後の社会参加や自己実現を豊かにするとの考えから新たに「産後 1 か月ママの会」を月 1 回開催、産後間もない親子が集まる場を作り、日常生活や社会参加に対するニーズをとらえる場とする。

今年度もイベントスペースの契約者同士の交流会を定期的に開催し、欠席者のフォローや情報の共有をしながらさらなる横のつながりを大切にしていく。また、カフェ全体と連携しながらイベント内容の共有と来店者へのイベントの紹介を行い、多くの子育て世帯や市民の方が居場所に足を運ぶきっかけになるよう努める。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：4 名
- ・受益対象者：起業、教室開催を考えている方及び一般市民等、のべ 2700 名程度
- ・支出額：925,110 円

2. 子育て中の母が特技を活かし生きがい及び仲間づくりのために作成した飲食物・手づくり品の販売

- ・内容：【概要】こまちカフェ内スペースにて、子育て中の方を中心とした市民がつくった手づくり雑貨を販売。地域の方の外出動機の創出につながり、また、子育て中の方々の得意が活きる場づくりにもつながっている。0 か 1 ではない働き方（自宅にいながら働ける一つのスタイル）の提案の場にもなっている。

【2020 年度の取り組み】

引き続き、年間を通してこまちカフェでの手づくり雑貨の販売を継続し、多くの方にとっての特技が活かせる場となるよう努める。ホームページ閲覧や Instagram をはじめとする SNS の閲覧数が上がるよう工夫し、閲覧がカフェ来店のかきっかけになるよう工夫する等、広報により力を入れ、haco+を知らない地域の方や様々な年代の方に知っていただく機会を増やす。

また、ウェルカムベビープロジェクトの出産祝いとして梱包されている haco+のガーゼハンカチを受け取った方のカフェへの来店動機となるよう、育児グッズなども充実させていく。

更に、作家各々が在庫管理や売上の把握をしやすくするため商品リストを WEB 上で確認できるように仕組みを整える。

そのほか、引き続きイベントを開催し、外販売や作家同士の交流会なども行う予定。

- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：4 名
- ・受益対象者：手づくり小物を地域でつくる方及び一般市民等、のべ 1,500 名程度
- ・支出額：623,359 円

V. 地域の多様な主体が互いに連携・協働し、コミュニティの活性化を推進するためのコーディネート事業

1. ウェルカムベビープロジェクト

- ・内容：【概要】「子どもの誕生・子育てを歓迎する文化の醸成」を願い、出産祝いを地域の人々や企業商店とつくり、届ける事業を実施。事務局をヤマト運輸株式会社神奈川主管支店とともに務める。横浜市こども青少年局後援事業。出産祝いは戸塚区及び鶴見区在住の赤ちゃんが生まれた世帯のうち、申し込みがある世帯へ無料で、ヤマト運輸株式会社が毎月およそ 70 件（戸塚区 50 件程、鶴見区 20 件程）届けている。プレゼントは選考会にて 4 人の選考委員により認定されたものが入る。このプロジェクトの資金はすべて民間財源（協賛金や寄付、自主事業収入）でまかなわれており、行政と連携し実施している。住民や企業商店等様々な人が子育てに関わるきっかけとなるよう設計し、その関わりと連携により新たな社会インフラ（子育てが豊かになっていくようなコト・モノ・サービス・制度）を生み出していくことも目指している。一例として、このプロジェクトからおむつ自動販売機が開発され、産院とのプレママ・プレパパ教室の開催が生まれている。

【2020 年度の取り組み】

○出産祝い部門

前年度の活動を継続し、2021 年度以降ウェルカムベビープロジェクトの出産祝いを届ける地域を広げるための布石の年とする。そのために、出産祝いのプレゼントの募集内容、申し込みからお届けするまでの仕組みも見直しをはかり、再検討を行う。また、出産祝いを贈ることに留まらず、受け取った人からの声をひろい、現在の子育て当事者のニーズを蓄積していく。

○産前部門

前年度に引き続き、産院との協働開催も年 3 回実施予定。その他、ウェルカムベビープロジェクト自主開催で、プレママ・プレパパ講座の実施を計画中。対象者は、単胎妊娠者と多胎妊娠者、そして、その家族。全体で受講できる内容と、単胎妊娠者と多胎妊娠者に分かれて受講する内容と 2 部構成にし、実施を予定。産前から、共に同じ地域で子育てをする親同士として、単胎家族と多胎家族が知り合い、多胎家族の横のつながりの場にもなるよう設定していく。

○産後部門

前年度に引き続き、地域の商業施設にて「こまちパーク」を月 3 回程度実施し、妊娠中から 0～1 歳の子育て当事者のニーズをひろう。

○創発部門

前年度に発表されたコンセプト案の実施に向けた計画を継続検討する。また、ウェルカムベビープロジェクトが、「子育て」をキーワードに様々な企業が集まり、新たなインフラ（モノ、コト、サービス）を検討、生み出すプラットホームとなる設計を行う。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市を中心に、全国
- ・従事者人員：4 名
- ・受益対象者：戸塚区・鶴見区で生まれた赤ちゃんのご家庭の方、700 名程度
企業、一般市民などおよそのべ 700 名、計のべ 1400 名程度
- ・支出額：4,885,308 円

2. つながりデザインプロジェクト

- ・内容：【概要】カフェの場からまちの担い手生まれる取り組み。居場所におけるコーディネーターの育成、活気のあるボランティア活動を、こまちカフェのみならずこまちカフェでの取り組みをもとに他団体や他地域に伝えていく。また、それらを受益者負担のみならず地域負担（寄付・協賛）等でいかに支えられるかを検討し、発信・展開する事業。

【2020 年度の取り組み】2019 年度まで開催してきた、「こまちパートナー登録説明会」等の居場所づくりと、参画しやすい仕組みのデザインを他部門との連携を強化しながら継続する。こまちパートナー登録後の活動が多くの人にとって関わりやすくなるような取り組みを、こまちパートナーの方々と一緒に考える。2019 年度からのトヨタ財団の助成事業や、カフェで開催の連続講座等を通して、こまちカフェ以外のコミュニティカフェや居場所においても、「担い手」が増えることと、そのコーディネーションを担う人材が育つことを目指す。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：6 名
- ・受益対象者：乳幼児や学齢期の子どもを育てる親、商店、企業、支援者等、のべ 900 名程度
- ・支出額：2,412,347 円

3. 戸塚宿ほのぼの商和会事務局

- ・内容：【概要】約 70 名の会員がいる戸塚の商店会の事務局をつとめる。その事務局機能をつとめながら、子育てに必要なまちのインフラを考え提案をしている。

【2020 年度の取り組み】

「こども・高齢者・障がいをもった人も誇りと居場所と出番を感じられる地域」を商店会としてビジョンを持ち、こまちぶらすとしてもその事務局機能を担いながら商店と子育てしやすい環境について考え提案をしていく。定例会や懇親会も、引き続き開催する。会員への情報発信を行うほか、事務局も新体制で取り組む。通常業務に加え、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策や商店会としてなができるか、意見を出し合い検討し、安心安全で最善の対応を実施していく。夏まつり、ほのぼのフェスタなどのイベントの開催はその時の状況により判断する。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区
- ・従事者人員：3 名
- ・受益対象者：71 名
- ・支出額：931,984 円

4. 「おしゃべり会」データベース化(「対話」の場を広げるためのツール開発及びファシリテーター養成事業)

- ・内容：【概要】妊娠、出産、育児について、母親（父親）がひとりで抱え込むことなく、地域のつながりの中で孤立せずに子育てができるよう、「対話の場」が様々な居場所で設けられるようにする。具体的には、これまで作成してきた“葉っぱ”ツールの質を向上しながら量産、日本各地の居場所と共有できるようにする。

【2020 年度の取り組み】

2020 年度は WAM 助成金を活用し、日本各地の居場所と「対話の場」を設けられるようにする。また、各地で継続して「対話の場」を実施できるようファシリテーター養成を実施し、効果検証の上「育児環境を支える対話の仕組み」の制度化を目指す。

- ・ 日時： 通年
- ・ 場所：神奈川県川崎市、鳥取県、沖縄県等日本国内
- ・ 従事者人員：5 名
- ・ 受益対象者： のべ 100 名程度
- ・ 支出額：452,879 円

5. 横浜市内の「コミュニティカフェ」の情報共有事業（横浜コミュニティカフェネットワーク世話人）

- ・ 内容：【概要】横浜市内のコミュニティカフェの情報共有のために活動をしている横浜コミュニティカフェネットワークの世話人の一人として代表が活動。

【2020 年度の取り組み】

情報交換の場等を 2020 年度も予定。

- ・ 日時：通年
- ・ 場所：神奈川県横浜市
- ・ 従事者人員：1 名
- ・ 受益対象者：主に横浜市内のコミュニティカフェ実践者及び関心がある方等、およそ 50 名程度
- ・ 支出額：0 円

VI 孤立しない社会をつくるためのまちづくり・啓発・提言事業

- ・ 内容：【概要】各種講演や調査協力、機関誌寄稿、提言等を実施。

【2020 年度の取り組み】行政関係者、中間支援、市民団体の方、企業、学生等向けにこまちぷらすの活動やカフェでの実践等について話し、ビジョンの普及啓発に努める。

- ・ 日時：通年
- ・ 場所：神奈川県、東京都等
- ・ 従事者人員：6 名
- ・ 受益対象者：行政、団体や企業、子育て中の母親等、のべ 750 名程度
- ・ 支出額：894,149 円